

# きずく

～気づき・考え・実行する学年～

第2学年 学年だより No.3  
伊達市立伊達中学校 第2学年  
令和3年4月17日(土) 発行  
文責：2学年主任 関川 佳伸

## 来週の日程

		1	2	3	4	5	6	行事等	清掃	部活	下校了
19日	(月)	—	—	—	—	—	—	繰替休業日	—	—	—
20日	(火)	火1	火2	火3	火4	火5	火6	生徒会専門委員会・短縮6校時・清掃、部活なし	×	×	16:15
21日	(水)	国語	数学	アンケート	水2	水5	水6	ふくしま学力調査・時間割変更	○	○	18:30
22日	(木)	木1	木2	木3	木4	木5	木6		○	○	18:30
23日	(金)	金1	金2	金3	金4	全校集会	部活動編成会	部活動編成会・全校集会	○	○	18:30

## タブレット端末が全員に配付されました



今年度から、生徒一人一人にタブレット端末が配られました。現在は教室に保管されており、授業での活用に向けて、練習中です。

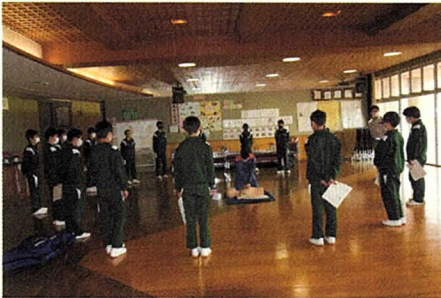
活用の中身は、教科によって違いますが、今後学習アプリやソフトも充実してくると思います。先生方も、効果的に使うことが出来るように研究中です。デジタル機器の活用は今後の学校教育に大きなウエイトを占めるようになってくると思いますので、有効活用できるように努力していきたいと思ひます。

# 心肺蘇生実習・AED講習を行いました

総合的な学習の時間を活用して、心肺蘇生実習とAED講習を実施しました。伊達地方消防組合西分署の皆さんにお世話になり、各学級1時間の講習を受講しました。

テレビなどでは見たことはありますが、実際に心肺蘇生法実習・AED講習を行うのは皆初めてということで、緊張しながらも真剣な態度で学ぶことが出来ました。心肺蘇生法やAED使用法は、人の命に触れる大変重い活動です。それでも中学2年生の時期にこれを学ぶのは、万一の時に命を救うことが出来る力を身に付けることができると考えるからです。

心肺停止から50%の人が生還するまでのタイムリミットは約4分。救急車が到着するまで待っていたのでは、救える命を失ってしまいます。今回、実習を終えた生徒たちが、心肺蘇生法・AED使用法の大切さを理解し、命の尊さを感じて日々過ごしていくことを願います。



## 心肺蘇生実習を体験して

2年1組 木幡 あみ

難しいのかなと思っていたけれど、思っていたよりは出来たような気がします。心臓マッサージは(胸が)固くて5cmも押すことは出来ませんでした。もし心臓マッサージなどをしなければならなくなった時は(ない方がいいけど)今回の経験を少しでも生かせばいいなと思います。

2年2組 菅野 みり

AEDの使い方は、今日初めて体験しました。人の命を助けるのには、一人では出来なく、周りの人の力を借りなくてはならないことを知りました。今日、教えてもらったことを忘れずに、一人でも多くの人を救うことが出来るようにしたいです。

2年3組 野崎 星華

体験してみて思ったことは、心臓マッサージをするのにとっても力が必要なんだなと思いました。それに同じペースでやるのが、こんなに大変なんだと思いました。私は、体験して、もし人が倒れていたりしたら助けたいと、改めて思いました。